

日本史B

単位数	3単位	対象学年	3学年	対象コース・クラス	看護福祉進学・情報ビジネス 調理パティシエ・服飾デザイン
使用教科書	「詳説日本史B」(山川出版社)		副教材等	「詳説日本史図録」(山川出版社)	

1. 学習の到達目標

我が国の歴史と展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史に関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。(評価の観点4つあることを考慮する。)
2. 収集した日本史Bについての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で取捨選択して活用する。

3. 学習上のメッセージ

- ・ 授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
- ・ 解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
- ・ 重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。
- ・ ノートの使い方を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法(年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に集中している。 ・ 重要と思った事項や図を書きとめ、ノートの取り方を工夫している。 ・ 必要に応じて資料などを活用している。 ・ 期限を守って、課題の提出が出来る。 ・ 疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事象について、地理的、歴史的な因果関係を主体的に追求し、物事の本質を関連づけて考えることができる。 ・ 身の回りで起こる事象の社会(地理的・歴史的)背景について関心を持ち本や新聞・テレビ等で幅広い情報を得ようとしている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史資料を活用して疑問点を解決できる。 ・ 統計資料などを読みとり、有用な情報を得ることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歴史展開を世界史的視野から総合的に理解し、日本の文化と伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考や資質を養う。 ・ 世界の歴史の流れを把握し、その地域・文化圏の各時代の特色と歴史の流れを理解し、その知識を身につける。各地域・文化圏において重要な意味をもつ人物・歴史的イベントをその地域の歴史に関連づけて理解する。

このため、評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して回答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第6章 幕藩体制の確立	1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	・織豊政権をとおして統一されていく戦国社会の、新しい支配原理を理解する。 ・桃山文化における仏教色の一掃に留意する。 ・江戸幕府の支配の基本的仕組み、外交政策転換の背景を理解する。
第7章 幕藩体制の展開	1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	・武断政治から文治政治への転換の背景を理解す。 ・江戸時代前期の経済発展の背景と具体的な成果について理解する。 ・政治の安定によって発展した経済力を背景とした町人が形成した文化の特徴を、人物や作品を通して理解する。
1学期中間試験		
第8章 幕藩体制の動揺	1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	・江戸時代中期の社会・経済の変化に、幕府や諸藩はどのように対応したか、またその結果について、理解する。 ・外国が日本周辺出現しはじめたことおよびそれが幕府政治へ与えた影響について留意する。 ・江戸時代後期の町人文化の特徴とともに、幕府支配への批判が出てきたことに留意する。
第9章 近代国家の成立	1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争	・外国の来日経過と、尊攘運動から討幕運動への転換を理解する。 ・明治新政府による近代化の過程を、廃藩置県や殖産興業等いくつかの重要用語を使って説明できる。 ・不平士族の反乱が自由民権運動へ転換し、民権運動も西洋思想の影響を受けなどして変化していることを理解する。 ・諸法典の整備や立憲体制の確立と条約改正の関係に留意する。
1学期期末試験		
	4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達	・日清・日露戦争の国内政治等への影響と諸外国との関係を理解する。 ・近代産業形成の特質を理解する。 ・明治文化への外国文化の影響と、伝統文化との関係に留意する。
第10章 二つの世界大戦と日本	1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第2次世界大戦	・第一次世界大戦の日本への外交的・経済的影響を理解する。戦争中、日本政府のとった政策に留意する。 ・大戦後の軍縮への動きと日本政府・軍部の動きに留意する。 ・大正デモクラシー・大衆社会の特徴に留意する。 ・世界恐慌打開への動きと軍部勢力の台頭、ファシズム化の動きの強化と太平洋戦争までの経過を理解する。
2学期中間試験		
第11章 占領下の日本	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	・アメリカの占領目的、具体的な施策、日本社会の変化と不変な部分に留意する。 ・冷戦の占領政策に与えた影響、西側社会に立った日本の独立達成と国連加盟への動きに留意する。
第12章 高度成長の時代	1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長	・西側の一員として、経済復興に取り組み、高度成長を達成し、国際社会の一員として重要な地位を占めつつあること、他方で公害問題の発生等の負の部分をもつこと等を理解する。
2学期期末試験		
第13章 激動する世界と日本	1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺	・冷戦終結の過程、その後の世界の状況の激変等をふまえ、それらが日本の政治・経済・外交に与えた影響について理解する。
学年末試験		

